



平成 23 年 6 月 8 日

各 位

会社名 住友大阪セメント株式会社

代表者 取締役社長 関根福一

(コード番号 5232 東証・大証一部)

問合せ先 執行役員総務部長 齋藤 昭

電話 03-5211-4505

### リチウムイオン電池正極材料の本格的事業拡大 - ベトナムでの新工場建設について -

住友大阪セメント株式会社(東京都千代田区、社長：関根 福一)は、リチウムイオン電池正極材料の需要拡大に応えるべく、リン酸鉄リチウムの年産 2,000 トン能力の新工場建設を決定いたしました。投資金額は約 50 億円で、2012 年上期稼働の予定です。

当社は 2007 年 12 月に船橋の当社事業所内に年産 150 トンのパイロットプラントを導入し、性能向上や品質管理など量産検証を重ねてきました。その結果、リン酸鉄リチウムを使用した電力貯蔵用大型リチウムイオン電池を国内で唯一量産しているエリーパワー株式会社(東京都品川区、社長：吉田 博一)をはじめ、複数のユーザーを確保し、さらに昨今の電力事情やエコカー普及などを受け急激な需要拡大が確実となり、新たな大規模量産工場の建設が必要であると判断いたしました。新工場は、2012 年上期中の稼働を計画しており、2013 年中にはフル生産の 2,000 トンレベルの操業になる見込みです。建設地については、国際取引への対応やコスト低減などを考慮し、ベトナム北部の工業団地内を予定しております。また、今回手当てした土地は 10,000 トンレベルまでの設備拡張が可能です。

当社は 1980 年代から培ったナノ粒子合成技術による水熱合成法によりリン酸鉄リチウムを開発し、2010 年 12 月には、抜群の安全性を確保しつつ性能を大幅に向上できる改良型リン酸鉄リチウムの開発にも成功し、ほぼ理論値通りの電池特性を達成しております。

今後、国内外において、CO<sub>2</sub>削減や災害時対応につながる自然エネルギーの活用、地域内の効率的な電力利用いわゆるスマートグリッドの進展、及び、EV・PHV といったエコカーの本格的な普及が見込まれております。それらのニーズに応えるものとして安全性と長寿命に優れたリン酸鉄リチウムの需要が急速に拡大することが想定され、各電池メーカーでも量産体制構築の動きが活発化しております。また喫緊の課題である蓄電池普及に対応するため、消防法適用のきわめて安全性の高い正極材の登場が期待されています。

更に、当社は次期正極材料として注目されている「リン酸マンガンリチウム」の開発にも成功しており、リン酸鉄リチウムの需要増に対応するだけでなく、独自のナノ粒子製造技術を活かした高性能の製品を開発することで、より一層エネルギー分野の事業拡大を推進していく方針です。

《製造子会社の概要》

名称：エスオーシー ベトナム ( SOC Vietnam COMPANY LIMITED )  
所在地：ベトナム フンイエーン省イエンミー地区タンロン 工業団地  
資本金：11.8 百万 US ドル 住友大阪セメント 100%出資  
設立時期：2011 年 7 月  
事業内容：リチウムイオン電池正極材料の製造販売  
設備能力：2,000 トン/年  
稼動時期：2012 年上期  
従業員数：約 200 名

《本件に関する問合せ先》

( お客様 ) 住友大阪セメント株式会社 二次電池材料事業推進室 TEL : 047-457-2882  
( 報道関係 ) 住友大阪セメント株式会社 総務部 IR 広報グループ TEL : 03-5211-4505

以 上